

7 技術専門校の再編後のすがた

7校を5校に再編・統合

現在、大阪府では、職業能力開発促進法に基づく職業能力開発校として、松原校、堺校、守口校、東淀川校、芦原校、東大阪校、夕陽丘校の7つの高等職業技術専門校を設置しています。

このうち、老朽化・狭隘化している松原校、堺校、守口校、東淀川校については順次廃止することとし、当面、堺校及び松原校に代わる校を、平成18年度を目途に大阪府南部に設置し、その後、東淀川校及び守口校に代わる校を平成20年度以降に大阪府北部に設置します。

7校を5校に再編・統合することにより、

効率的・効果的な訓練の実施 ○多能工的技能者の養成 ○指導員相互の応援・補完体制づくり ○効率的な校の管理運営 といった効果が期待できます。

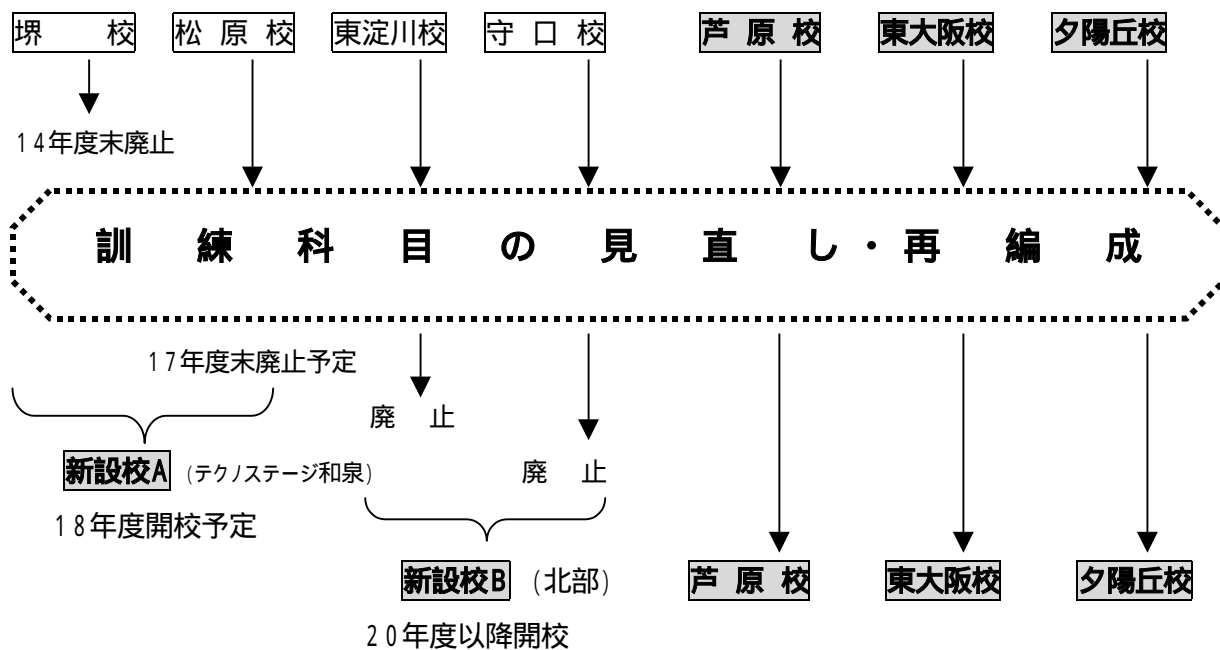
移転先の選定

移転先は、府域における技術専門校の配置上のバランスを考慮しつつ、大阪府の財政状況や産業立地施策、関連施設との連携、通学の利便性などを踏まえて選定します。

このうち南部については、南大阪地域をハイテク拠点にするという産業クラスター構想を踏まえつつ、大阪産業の振興につながる科目の検討などでの既存研究機関との連携、高度な職業訓練の実施に向けた近畿職業能力開発大学校との連携、今後期待される産業集積などの観点から、テクノステージ和泉を移転先とします。

北部については、南部の開校状況をみながら、北大阪地域をライフサイエンス拠点とするクラスター構想等を勘案し、今後、適当な候補地を選定します。

【再編のイメージ】



特色ある技術専門校の構築